

208
619

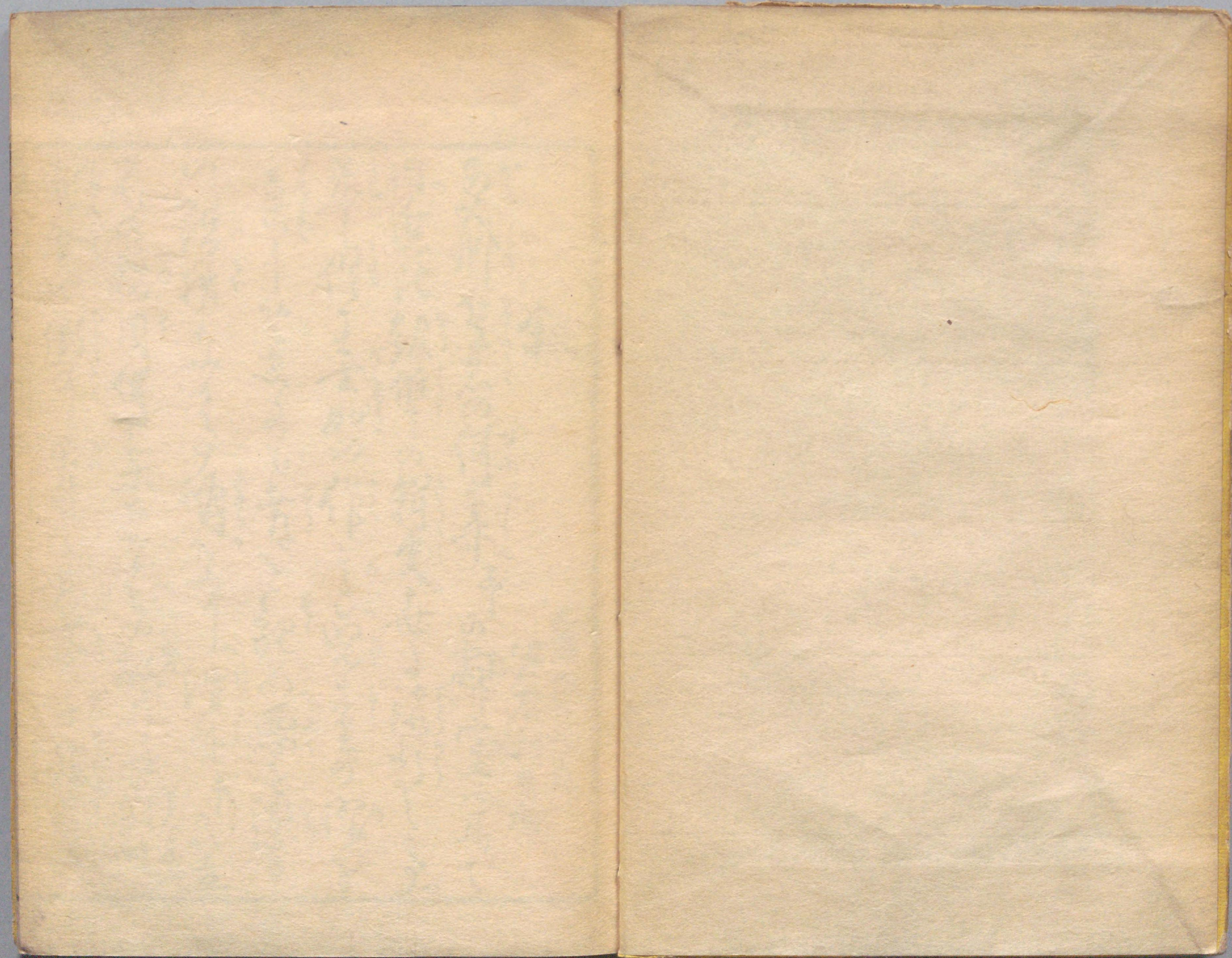
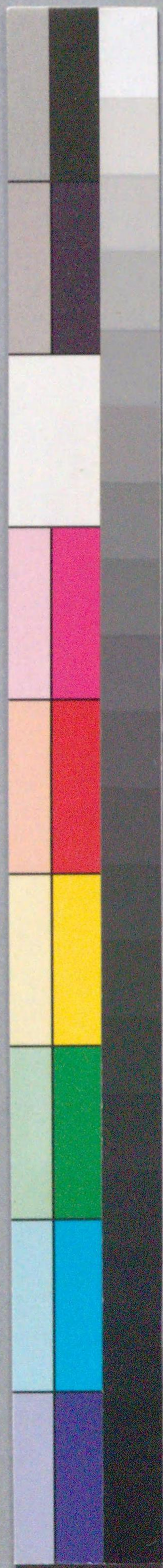
復讐両士孝行
完

徳
藏



国立国会図書館 復讐両士孝行 208-619

ガラス使用



国立国会図書館 復讐両士孝行 208-619

ガラス使用



叙

大傳馬町二丁目

万全利



大州集名の何素亭の歌井室小舟て
 近世鼓篋の輯史母は流わしき
 是れ伊予玄妙の作さしむるをその
 吉幸一先志のもの昔を親め心を潔
 の階坊ちるるの明なり。活井亭の立
 石の猶圓何未たるもの故あて中世
 巡玉の樹り害せしむ其子孫の

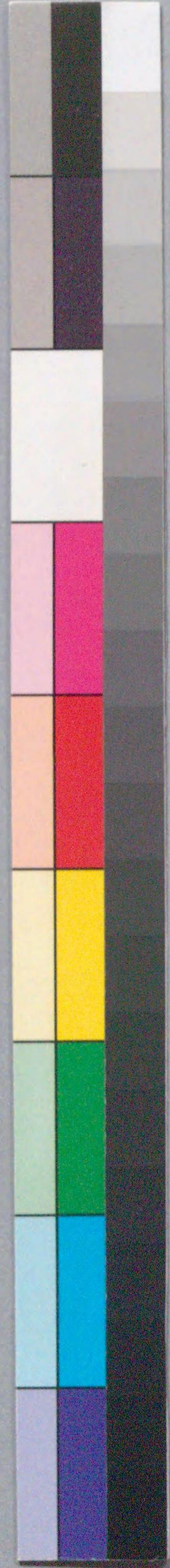


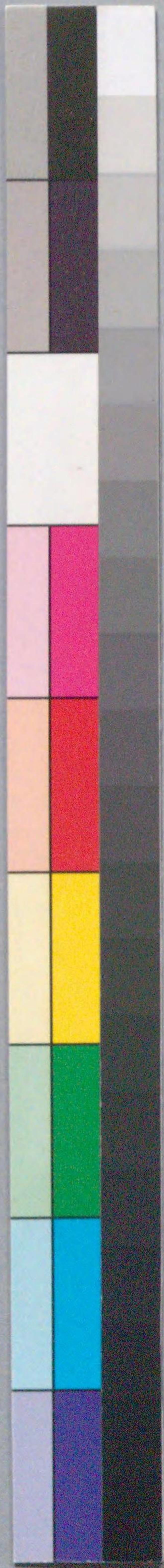
いたつはあやあつらんあうまう
 かさいのーゆうーゆあつらて
 見づらまをさなうらまがら
 とつとめなるいさ目とあんと
 のあつあつせんそふ大らくと
 するてあつまんとあいの
 みるひがまさいあつて
 だんゆうせうれ今と
 そうあつ人の代ふる
 ても日づのまうま
 とうつとめなるが
 がのーあつあつて
 まんのきんぐせ
 くのハあふそ
 るくつじらまら
 与あつあつあつら
 うんハあれまめ
 つのひの女ふと
 つけつふとれと
 今いめんをあや
 りくあつひそふ
 よういひのまうと
 ちうてうまおと



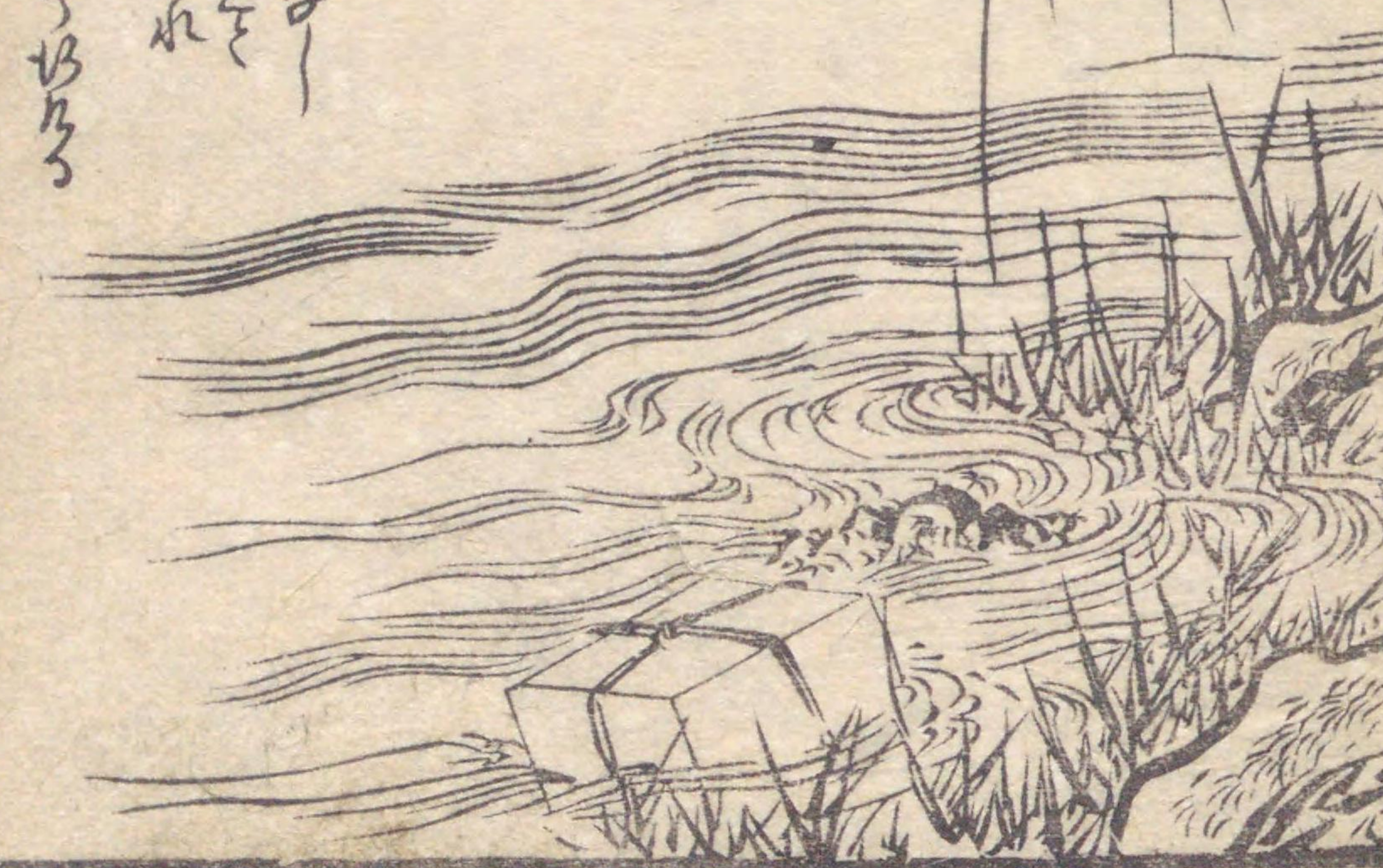
させらるせとあ
 るりんがつまおり
 とらふものとのわ
 ちつとあつこれと
 福とまなぐま
 うらこのまう
 ちのあつら
 まのよまんらふ
 およびあつび出
 ありちらえい
 の神本ふと
 うちてめらけあ
 ことらひらとあ
 うらまのま
 つまのいづくら出
 りづうかりあ
 あとありつけま
 このまをまけ大
 小あつら
 さだ(ま)つまの
 うちうけい
 いけんまあ







あつらひ
 志すて一白き
 らし出でなく身
 めらうとぞ
 けりよとぞ
 川食らふ
 と此の
 とこい
 つの
 中
 お
 上
 ら



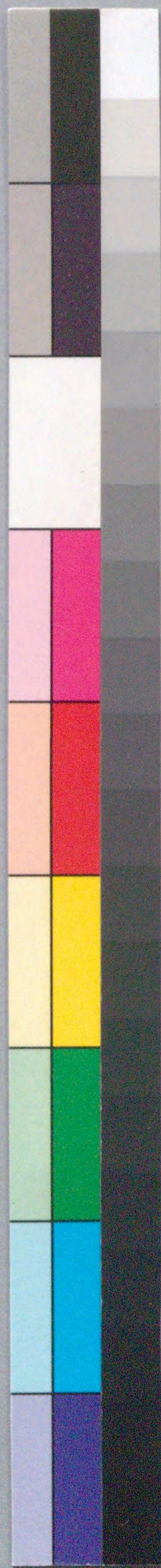
い
 う
 う
 か
 ま





208
619





国立国会図書館 復讐両士孝行 208-619

ガラス使用